

楽園だより

今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2025年 11月1日

No.87

「安心・快適・誇れる建物」を形にする 木KEYPlus

木KEYPlus 進捗報告

未来の木造建築を体現するプロジェクト「木KEYPlus」。その名の通り「木(もく)」と「KEY(カギ)」と「PLUS(プラス)」をかけたこの建物は、これからの木造建築の新しい可能性の象徴として、楽園住宅が挑戦している非住宅木造建築のモデルです。

工事は今年の2月に上棟し断熱施工、外壁工事と順調に進んできました。社員大工の丁寧な手仕事によって、建物は形を整え、完成に向けて着実に歩みを進めています。

断熱性能は徹底的にこだわっています。木KEYPlusでは、105mmの高性能グラスウールを3重に入れた「充填+付加+付加」のトリプル断熱を採用しました。これは一般的な住宅の断熱基準を大きく上回り、国が2030年に目標にしている断熱等級5より高い快適性や省エネ性の断熱等級7をクリアしたレベルです。冬は室内の熱を逃がさず、夏は外の暑さをしっかりと遮ることで、冷暖房に頼りすぎず快適に過ごすことができます。

さらに、断熱性能を活かすために欠かせないのが「気密性能」です。わずかな隙間も許さない施工は、社員大工の経験と技術によって支えられています。高い気密性は計画換気を正しく機能させ、室内の空気を常に新鮮に保ちながら、冷暖房効率を飛躍的に高めます。「冬は暖かく、夏は涼しい」——その快適さの裏には、数値に裏付けられた技術があります。



外壁には「ファサードラタン」と呼ばれる、桧材を目透かし張りにしたデザインを採用しました。岐阜県産の桧材は耐久性に優れ、防虫効果もあるため長持ちしやすい素材です。さらに、通常の施工では表面に現れてしまうビスを見せない工夫を取り入れ、デザイン性を高めています。パネル化することで、施工精度の均一化とメンテナンス性も向上。木の素材感を活かしつつ、機能面でも優れた仕上がりとなっています。経年変化によって少しずつ色合いが変わっていく様子は、まさに「建物と共に時間を重ねる楽しみ」です。



木KEYPlusでは、最新の技術だけでなく、日本の伝統工法である「土壁」にも挑戦しました。地域の方々と一緒に体験イベントを開催し、土と藁を混ぜ、木小舞に塗り込む作業を通じて、自然素材の力を再確認しました。土壁は湿度を調整し、夏は涼しく冬は乾燥を和らげる働きがあります。断熱や気密と組み合わせることで、より快適で健康的な空間を実現します。また、地域の人が参加することで「つくる楽しさ」や「家づくりの文化」を次世代につなげることができました。

木KEYPlusは単なる建物ではなく、暮らしと地域を結ぶ拠点でもあります。



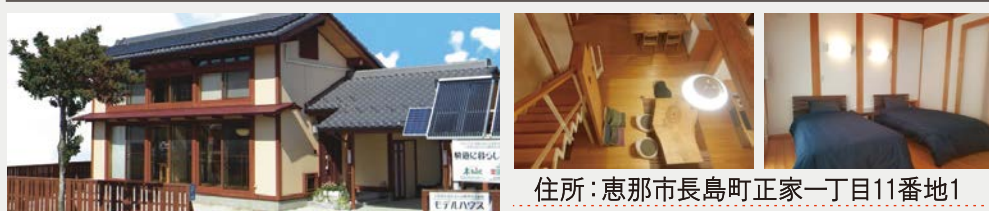
設計士と内部、外部の仕上げ材の打合せを重ね、空間の質感や快適性をさらに高める工夫をしています。床や階段の鉄骨下地も組み上がり、建物としての表情が少しずつ完成に近づいています。単なる「建物」ではなく、「暮らしを豊かにする舞台」をつくるために、細部にまでこだわりを注ぎ込んでいます。



木KEYPlusは、これまでの住宅づくりで培った「断熱・気密・耐震」の技術を、非住宅木造建築に応用する挑戦です。私たちは、このプロジェクトを通じて「木造建築にはまだまだ可能性がある」ということを証明したいと考えています。地域材を活かした温かみのあるデザイン、数値で裏付けられた性能、そして地域工務店の技術力。この三位一体が未来のスタンダードをつくっていくと確信しています。

完成まであと一步。木KEYPlusは、これからも進化を続けます。性能もデザインも妥協せず、「安心・快適・誇れる建物」を形にする——その過程を、ぜひ楽しみに見守ってください。

宿泊体験モデルハウスのご案内 年中快適



住所：恵那市長島町正家一丁目11番地1

長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう！
無料宿泊体験できます！

楽園住宅

『人と環境に優しい
家づくりをする工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5 TEL 0573-26-5122

公式LINE
はじめました！

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、なんでもお問い合わせください!! また、こんな事本気でやって欲しい!ということがございましたらぜひ、リクエストお願いいたします。





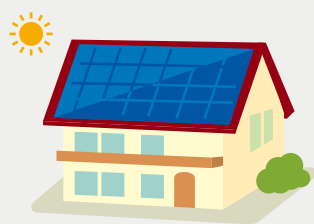
高断熱高気密住宅

-快適で省エネな生活の楽しみ方-



今年の夏も猛暑日が続く寝苦しい夜で疲れが溜まったのではないのでしょうか！

土壁の高断熱住宅や基礎断熱住宅にお住まい頂いて、太陽光発電を搭載しているお客様の快適で省エネな夏の住まい方を少しご説明しようと思います。



FIT(固定価格買取制度)が終了して太陽光発電の余剰電力の買い取り価格が安くなってしまった方は、特に住宅の性能をフルに活用して夏を快適に省エネに暮らして頂きたいと思えます。

楽園住宅が造る高断熱住宅は外からの熱の出入りが少なくなっています。

この少ない熱損失を外気との温度差と住宅性能(熱損失Q値係数)を計算して必要なエアコンの能力を決めています。

計算された能力のエアコンを連続運転して快適で省エネな住まいを実現しています。

これは大きなトレーラーを乗用車のエンジンで走らせているようなものです。車と同じですが、登り坂でトレーラーに乗用車のエンジンしか付いていないとしたら一度止まってしまうと途中で動かすのは大変です。

住宅も同じで一度、暖まってしまうと冷やすのは大変です。

温度差が大きい昼間は、小さなエアコンで建物全体の温度を下げるのは大変です。常にサーキュレーター等で部屋の空気を循環させながら、効率の良い夜間に室温を下げるなど住まい方で調節しましょう。

当初、室温が下がるまで電気代が掛かりますが、一度下げてしまえば多分猛暑日でも昼間のエアコン負荷は600~800W(エアコンの性能にもよります)ぐらいで、太陽光発電が載っていれば楽にカバーできると思います。逆にFITが終わった太陽光発電で発電量に余裕があるようでしたら、昼間の余剰電力でエアコンの余力を使って設定温度を1~2℃下げて、夕方太陽光発電が発電しなくなったときに設定温度を1~2℃上げてやればエアコンの電気消費量が少なく済みます。

Q値が1.0を切る様な性能の住宅なら、昼間の太陽光発電の余剰電力で建物の温度を2~3℃下げておけば、寝るときにはエアコンを切っても朝まで1~2℃の温度上昇で済むと思えます。

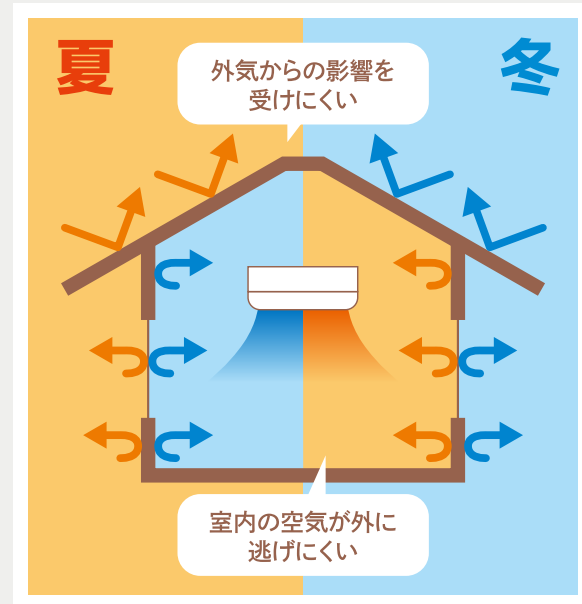
断熱・蓄熱と日射遮蔽が考えられた省エネ住宅では、いろいろな使い方で快適で省エネな生活を楽しめます。

以前楽園住宅は、夏場外気温の最高値を35℃で計算していましたが、最近の猛暑日が続く気候では最高気温を40℃でエアコンの能力を計算しています。

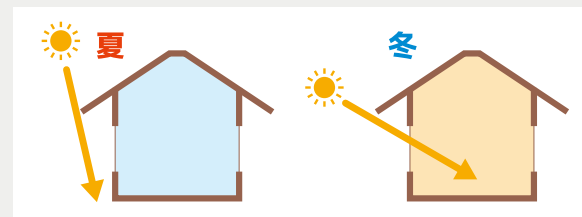
多少余力ができたので太陽光発電のFITが終了したお客様は、昼間のエアコンの設定温度を1~2℃下げて夜間の設定温度を高くするかエアコンを止めてみて下さい。

朝、太陽光発電が発電を始めたなら、エアコンの設定温度を下げるかエアコンの運転を忘れないようにしましょう！

■高断熱住宅



■日射遮蔽



一般住宅にも炭素がたっぷり！

前回は、大きな木造建築「木KEYPlus(キープラス)」が、どれほど多くの二酸化炭素(CO₂)をため込んでいるかをご紹介しました。でも、「ふだんの家ではどうなんだろう?」と気になった方もいるかもしれません。

そこで今回は、現在楽園住宅で建設中の一般住宅2軒を例に、ふつうの家にどれだけの木が使われ、どれだけのCO₂をため込んでいるのか調べてみました。

一般住宅に使われる木材の量

2軒は共に平屋建てで、延べ床面積は81.77㎡と99.88㎡です。建設に使われている木材は2軒とも約10立方メートル(㎥)です。この量、実はかなりのボリュームです。
お風呂の浴槽(200リットル)でいうと…約50杯分
ペットボトル(2リットル)でいうと…約5000本分
一見コンパクトな住宅でも、これだけの木が使われているんですね!

炭素の固定量はどれくらい?

この住宅にため込まれているCO₂の量は、およそ7トン。これがどれだけのインパクトかという...

自動車で約27,900km走行したときと同じ量(地球を半周するほどの距離)

一般家庭(1世帯)が約2年間で出すCO₂と同程度木を使うことで、それだけのCO₂を空気から減らすことができるのです。

木を使う選択が、未来を変える

木は、ただの「建材」ではありません。空気中のCO₂をため込み、地球を守る力を持つ資源です。私たちが木の家を選ぶことで、気候変動をおさえる一歩になります。これからの住まいづくりに、環境へのやさしさという視点を、ぜひ加えてみませんか?

完成現場見学会 開催!

家づくりに役立つリアル体験

お問い合わせ

楽園住宅(担当:堀)

☎ 0573-26-5122



開催概要

日程 11/29(土)・30(日)

時間 9:00~17:00
(1時間ごとの予約制)

場所 恵那市内 2現場同時開催

見どころポイント

- ✓ コンパクトでも広々快適
- ✓ 実際の暮らしを想像できるリアルな空間
- ✓ 高断熱・高気密の快適性能を体感
- ✓ 子育てグリーン住宅支援事業・GX志向型補助金活用
- ✓ ゼロエネルギー住宅

楽園住宅のこだわり

UA値0.35を目標にした高断熱性能
C値0.5以下を目指した気密性能
耐震等級3の安心設計



「安心・安全・快適で、いつでも帰りたくなる家」

